

企業統治(コーポレート・ガバナンス)

セブン&アイHLDGS.は、傘下の事業会社を監督・統括する持株会社として、コーポレート・ガバナンスの強化とグループ企業価値の最大化を使命としています。

執行役員制度と監査役制度を軸とした企業統治

セブン&アイHLDGS.の取締役会は、15名の取締役(うち4名は独立社外取締役)で構成されています。変化の激しい経営環境の中でも迅速な意思決定と業務執行ができるように執行役員制度を導入し、取締役会は経営戦略の立案と業務執行を監督し、取締役兼務者を含む19名の執行役員は業務を執行しています。なお、取締役の任期は、株主の意向をより適時に反映するために1年としています。

監査役会は5名の監査役(うち3名は独立社外監査役)で構成されており、監査役制度を軸に経営をモニタリングしています。監査役は取締役会をはじめとする重要な会議に出席することに加え、代表取締役との意見交換や、定期的に取締役から業務執行状況を聴取しています。また、事業会社の取締役、監査役と情報共有などを図り、取締役の職務の執行を厳しく監査するとともに会計監査人と情報交換を行い、会計監査における緊密な連携を図っています。

社外取締役・社外監査役は、取締役会の意思決定および業務執行の妥当性と適正性を確保するための助言や提言を

実施しているほか、取締役などとのミーティングで会社の経営やコーポレート・ガバナンスなどについて意見交換することにより、業務執行を監督・監査しています。

※1 セブン&アイHLDGS.は、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、客観的で中立的立場から専門知識や経験を活かした監督・監査と助言、提言などをしていただけるよう、社外取締役、社外監査役の選任については、独立性を重視しています。

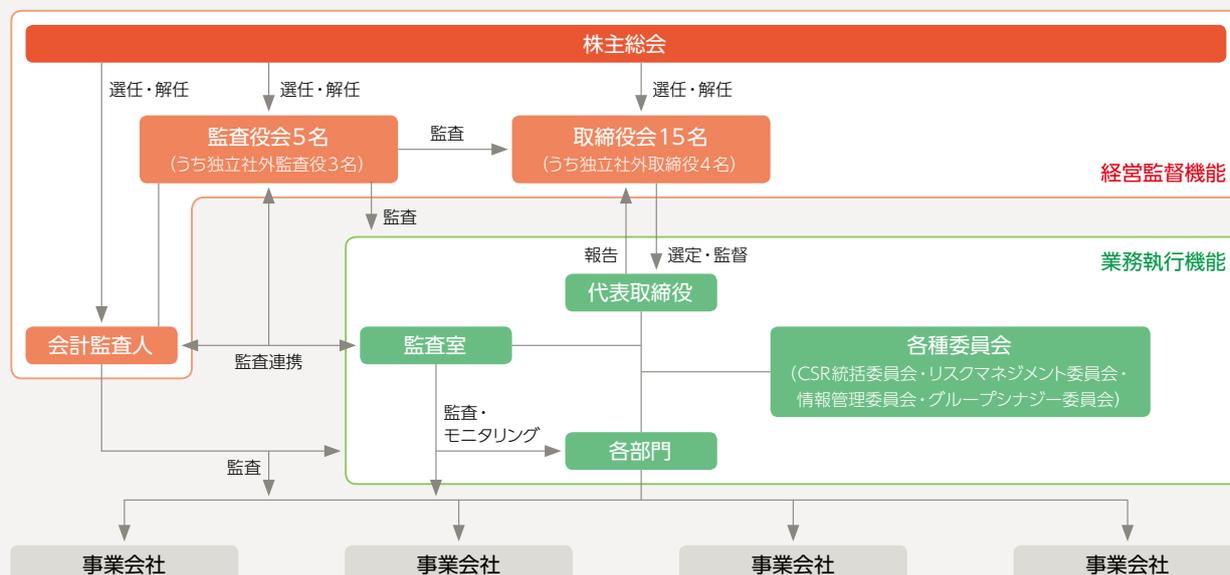
※2 人数は2015年8月末のものです。

内部統制システム

セブン&アイHLDGS.では、①業務の有効性と効率性、②財務報告の信頼性、③事業活動における法令の遵守、④資産の適正な保全を目的に、内部統制システムの充実と強化に取り組んでいます。

独立した内部監査部門である監査室には、主要事業会社の内部監査を確認し指導する、または直接監査する統括機能と、持株会社であるセブン&アイHLDGS.自体を監査する内部監査機能があります。これらの業務にあたる「業務監査担当」に加え、主要事業会社の内部統制評価を実施する「内部統制評価担当」を設置しています。

当社のコーポレート・ガバナンス体制



各種委員会

セブン&アイHLDGS.は、代表取締役のもとに「CSR統括委員会」「リスクマネジメント委員会」「情報管理委員会」「グループシナジー委員会」を設置しています。各委員会は事業会社と連携しながらグループの方針を決定し、その浸透と実行を管理・監督することでコーポレート・ガバナンスの強化を図っています。

●CSR統括委員会

CSR統括委員会では、さまざまなステークホルダーに「信頼される、誠実な企業でありたい」という社是に基づいて、「セブン&アイHLDGS.企業行動指針」の遵守と、事業活動を通じた社会課題の解決に貢献し、社会とグループの持続的成長を目指すことを目的に活動しています。この目的を達成するために、委員会の傘下に「企業行動部会」「消費者・公正取引部会」「環境部会」を設置し、各部会においてグループの事業特性を考慮して取り組むべき主要課題に優先順位をつけ、課題解決策を立案・実行しています。

(各部会の活動については7～10ページ)

●リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会では、事業の継続を脅かし、持続的成長の妨げとなるすべての事象をリスクとして認識し、包括的かつ統合的なリスク管理の強化に努めています。

2014年度は引き続き、グループの経営健全性、事業継続性に対する管理の強化を図るとともに、持続的成長を確かなものとすべく、経営管理との連携強化やコンプライアンス・リスク管理の強化に着手しました。

2015年度は、特にリスク管理と経営管理の連携強化を推し進めるべく、経営管理の重要指標となりうるリスク評価基準・手法の確立に注力するとともに、グループが現に直面する課題の解決に向けて、関係部門と連携して取り組んでいます。

●情報管理委員会

情報管理委員会では、情報管理上の課題を統括することを目的に活動しています。

2014年度は、グループ各社において決定または発生する重要事項のセブン&アイHLDGS.に対する報告体制およびグループ共通のITセキュリティ基準の強化について検討を進め、新たに情報管理室を設置しました。これら情報管理と情報セキュリティの2つの課題について、それぞれ担当者を定め、さらなる推進を図ったうえで、グループ共通の情報セキュリティ基本方針と個人情報保護基本方針を新たに策定し、下位規程の見直し、整備を進めました。

2015年度は、新たな報告体制の下、情報を切り口にしたガバナンスおよびコンプライアンスの強化を図るとともに、お客様の個人情報の保護に対する社会の関心の高まりを背景に、情報セキュリティにおける体制の強化に引き続き取り組んでいます。また、グループ内でお客様の個人情報を取り扱う部署では、セキュリティ認証(ISO27001)の取得に向けて取り組んでいます。

●グループシナジー委員会

グループシナジー委員会では、オムニチャネル、システム、販売促進、マーチャンダイジング、建築設備の5部会で構成されています。グループ戦略であるオムニチャネルの始動・発展に向けて進捗の共有と確認を行うとともに、各事業会社が培ってきた「商品開発」「プロモーション」などを共有して、プライベートブランド「セブンプレミアム」に代表される安全・安心かつ便利で高品質な商品・サービスを生み出しています。また、グループのスケールメリットを活かし、商材・資材・備品などの共同購買によるコストダウンに努めています。